

介護老人保健施設おゆみのご利用する皆様へ

研究機関：介護老人保健施設おゆみの リハビリテーション科

研究責任者：川瀬 大輔，上沼 真尋

現在、介護老人保健施設おゆみのリハビリテーション科では、今後のリハビリテーションに役立てることを目的に、入所リハビリテーションを利用する家族介護者様にアンケート調査を行っています。研究への参加に同意していただけるかどうかはご利用者様およびご家族様の自由な意思によるもので、参加に同意していただけない場合でも、今後の診療や治療に不利益が生じることはありません。また、参加することに同意された後でも、参加をやめることは自由です。この場合でも、不利益が生じることはありません。

1. 研究課題名

「入所リハビリテーションにおける家族介護者の介護負担に関するアンケート調査」

2. 研究の目的・意義

本研究の目的は、入所リハビリテーション（以下、入所リハ）における家族介護者へ介護負担に関するアンケート調査を行い、自宅生活の現状を理解すること、および入所リハ内での訓練や家族指導の質を高めるための情報を得ることを目的としています。研究の結果は、利用者の自宅・施設内での自立度向上や、家族介護者の介護負担に軽減に寄与することが考えられます。

3. 研究の方法

本研究は、アンケートを用いた調査研究です。アンケートの内容は、家族介護者の性別、年齢、入所の経緯等の基本情報に関する項目、精神的・肉体的・経済的負担感の項目、負担を感じている具体的な生活動作や具体的な援助内容を選択肢の中から回答する項目、ご本人様がどのように施設で過ごしてほしいか等を自由記述で回答する項目としています。

4. 記録等の保管

アンケートは研究責任者を保管責任者とし、介護老人保健施設おゆみにて5年間にわたり保管します。保管期間終了後は本研究で得られたデータの2次利用の可能性が無くなった時点で全てのデータを消去し、紙媒体で保管される文書は廃棄します。

5. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。データは本研究の責任者あるいは共同研究者が解析し、研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。一方で、アンケートの回答を入所リハおよび自宅内での環境調整等に活かすために、任意で利用者の氏名を記入できるようにしています。データ等は、個人が特定できない状態とし、紙媒体のデータは介護老人保健施設おゆみの鍵のかかる棚で保管し、電子データは、電子データ・パソコンともにパスワードで鍵をかけた状態で保管します。

6. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の＜本件のお問い合わせ先＞へご遠慮なくお申し出ください。

＜ 研究実施機関 ＞：医療法人社団淳英会 介護老人保健施設おゆみの

＜本件のお問合せ先＞：リハビリテーション科 川瀬 大輔，上沼 真尋

043-293-5151